



2018年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年2月2日
東

上場会社名 日産化学工業株式会社 上場取引所
 コード番号 4021 URL <http://www.nissanchem.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 木下小次郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 吉田洋憲 (TEL) 03-3296-8356
 四半期報告書提出予定日 2018年2月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2018年3月期第3四半期の連結業績(2017年4月1日～2017年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年3月期第3四半期	132,680	8.7	22,392	19.7	23,947	24.0	17,734	24.6
2017年3月期第3四半期	122,069	△1.1	18,700	△2.7	19,312	△5.2	14,236	△4.1

(注) 包括利益 2018年3月期第3四半期 22,703百万円(65.7%) 2017年3月期第3四半期 13,705百万円(△20.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2018年3月期第3四半期	117.68	—
2017年3月期第3四半期	92.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2018年3月期第3四半期	227,003	172,303	75.1
2017年3月期	231,748	163,707	69.9

(参考) 自己資本 2018年3月期第3四半期 170,464百万円 2017年3月期 162,041百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年3月期	—	24.00	—	28.00	52.00
2018年3月期	—	32.00	—		
2018年3月期(予想)				34.00	66.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2018年3月期の連結業績予想(2017年4月1日～2018年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	192,000	6.5	34,500	9.7	36,100	13.8	27,000	12.4	179.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

連結業績予想における「1株当たり当期純利益」の算定に使用した期中平均株式数は、本日公表しました「自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ」に基づく自己株式取得の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2018年3月期3Q	151,000,000株	2017年3月期	154,000,000株
2018年3月期3Q	546,208株	2017年3月期	2,242,017株
2018年3月期3Q	150,700,798株	2017年3月期3Q	153,315,546株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

(決算補足説明資料の入手方法)

2018年2月2日(金)に、決算説明資料をホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 利益配分に関する基本方針	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2017年4月1日～2017年12月31日）の国内景気は、雇用・所得環境の改善、設備投資の拡大を背景に、緩やかな回復が続きました。このような状況のもと、当社グループの事業につきましては、化学品部門は、基礎化学品、ファインケミカルともに前年同期比で増収となりました。機能性材料部門は、ディスプレイ材料、半導体材料、無機コロイド全て順調に推移しました。農業化学品部門は、動物用医薬品原薬の出荷が堅調でした。医薬品部門は、「リバロ」（高コレステロール血症治療薬）原薬の国内販売が後発品の増勢により減少しました。

この結果、当期間における業績は、売上高1,326億80百万円（前年同期比106億11百万円増）、営業利益223億92百万円（同36億91百万円増）、経常利益239億47百万円（同46億34百万円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益177億34百万円（同34億97百万円増）となりました。計画比では、売上高は4億円、営業利益は7億円、経常利益は11億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億円、全て上ぶれとなりました。

セグメント別概況は以下のとおりであります。

化学品部門

基礎化学品では、メラミン（合板用接着剤原料等）は減少、高純度硫酸（半導体用洗浄剤）の販売は増加しました。ファインケミカルでは、「テピック」（封止材用等特殊エポキシ）の出荷が好調な一方、「ハイライト」（殺菌消毒剤）は減収となりました。また、原燃料価格の上昇を受け、部門全体の利益率は低下しました。

この結果、当部門の売上高は259億24百万円（前年同期比3億55百万円増）、営業利益は25億19百万円（同86百万円減）となりました。計画比では、売上高・営業利益ともに計画通りとなりました。

機能性材料部門

ディスプレイ材料では、「サンエバー」（液晶表示用材料ポリイミド）のスマートフォンなど中小型向けが好調でした。半導体材料では、半導体用反射防止コーティング材（ARC[®]）および多層材料（OptiStack[®]）が一部顧客の新規工場稼働開始、稼働率回復により増収となりました。無機コロイド材料は、「スノーテックス」（電子材料用研磨剤、各種表面処理剤等）、オルガノシリカゾル・モノマーズル（各種コート剤、樹脂添加剤）ともに増加しました。

この結果、当部門の売上高は441億78百万円（前年同期比48億51百万円増）、営業利益は116億76百万円（同17億9百万円増）となりました。計画比では、売上高は5億円、営業利益は7億円のうぶれとなりました。

* ARC[®]およびOptiStack[®]はBrewer Science, Inc. の登録商標です。

農業化学品部門

フルララネル（動物用医薬品原薬）の出荷が順調に推移し、「ラウンドアップマックスロードAL」剤（一般家庭向け除草剤）および「アルテア」（水稲用除草剤）の販売も堅調でした。加えて、海外向け農薬の出荷が好調でした。

この結果、当部門の売上高は324億94百万円（前年同期比42億54百万円増）、営業利益は74億59百万円（同26億9百万円増）となりました。計画比では、売上高は6億円のうぶれ、営業利益は2億円のうぶれとなりました。

医薬品部門

「リバロ」原薬は、海外向けは伸長しましたが、国内向けは後発品の増勢により減少しました。「ファインテック」（医薬品研究開発参加型事業）は好調な売上となりました。

この結果、当部門の売上高は58億34百万円（前年同期比2億88百万円減）、営業利益は10億53百万円（同3億26百万円減）となりました。計画比では、売上高は計画通り、営業利益は1億円のうぶれとなりました。

卸売部門

当部門の売上高は449億92百万円（前年同期比36億75百万円増）、営業利益は14億32百万円（同1億50百万円増）となりました。計画比では、売上高は1億円のうぶれ、営業利益は1億円のうぶれとなりました。

その他の部門

当部門の売上高は142億93百万円（前年同期比1億50百万円減）、営業利益は2億70百万円（同89百万円増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金が減少したことなどにより、前連結会計年度末比47億45百万円減の2,270億3百万円となりました。

負債も借入金が増加したことなどから、前連結会計年度末比133億41百万円減の547億円となりました。

また、純資産は前連結会計年度末比85億96百万円増の1,723億3百万円となりました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末比5.2ポイント増加し、75.1%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益、減価償却費、運転資金の増減などから法人税等の支払額を控除した結果、343億25百万円の収入（前年同期は305億36百万円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、工場などの設備投資による支出などにより、120億30百万円の支出（前年同期は78億35百万円の支出）となりました。

また、財務活動によるキャッシュ・フローでは、借入金の返済、配当金の支払、自己株式の取得による支出などにより、316億5百万円の支出（前年同期は301億45百万円の支出）となりました。

現金及び現金同等物の四半期末残高は、換算差額1億17百万円を調整した結果、前連結会計年度末に比較して91億92百万円減少し、265億8百万円（前年同期は280億10百万円）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想は、前回発表(2017年11月6日)の業績予想から変更はありません。

(4) 利益配分に関する基本方針

当社は、中長期的に事業収益を拡大し、財務体質を強化することで企業価値の向上に努め、株主の皆様への積極的な還元を図ってまいります。なお、株主還元につきましては、2016年4月に始動した中期経営計画「Vista2021」において、配当性向を2019年3月期に向けて40%まで段階的に引き上げることに加え、総還元性向70%の維持を目標としております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2017年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	35,701	26,508
受取手形及び売掛金	60,075	47,242
商品及び製品	28,602	34,628
仕掛品	64	915
原材料及び貯蔵品	7,778	9,170
その他	8,375	7,384
貸倒引当金	△33	△39
流動資産合計	140,564	125,810
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	23,824	23,546
その他（純額）	28,145	30,850
有形固定資産合計	51,969	54,397
無形固定資産		
のれん	0	6
その他	1,576	1,679
無形固定資産合計	1,577	1,686
投資その他の資産		
投資有価証券	32,465	39,425
その他	5,269	5,776
貸倒引当金	△98	△92
投資その他の資産合計	37,636	45,109
固定資産合計	91,183	101,192
資産合計	231,748	227,003

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2017年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,943	19,391
短期借入金	26,225	9,978
未払法人税等	3,288	1,670
賞与引当金	1,920	616
役員賞与引当金	28	21
その他	11,259	12,102
流動負債合計	57,665	43,780
固定負債		
長期借入金	4,580	3,345
事業構造改善引当金	594	532
関係会社事業損失引当金	309	309
退職給付に係る負債	101	115
その他	4,791	6,617
固定負債合計	10,376	10,919
負債合計	68,041	54,700
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,942	18,942
資本剰余金	13,611	13,613
利益剰余金	126,370	124,414
自己株式	△7,587	△1,961
株主資本合計	151,337	155,008
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,079	14,229
為替換算調整勘定	243	884
退職給付に係る調整累計額	380	342
その他の包括利益累計額合計	10,703	15,455
非支配株主持分	1,666	1,838
純資産合計	163,707	172,303
負債純資産合計	231,748	227,003

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)
売上高	122,069	132,680
売上原価	72,187	77,384
売上総利益	49,881	55,296
販売費及び一般管理費	31,181	32,904
営業利益	18,700	22,392
営業外収益		
受取利息	13	18
受取配当金	538	613
持分法による投資利益	236	1,020
その他	784	614
営業外収益合計	1,573	2,266
営業外費用		
支払利息	121	99
固定資産処分損	333	257
休止損	192	218
その他	314	136
営業外費用合計	961	711
経常利益	19,312	23,947
特別利益	-	-
特別損失	-	-
税金等調整前四半期純利益	19,312	23,947
法人税、住民税及び事業税	4,137	5,649
法人税等調整額	795	411
法人税等合計	4,932	6,060
四半期純利益	14,379	17,886
非支配株主に帰属する四半期純利益	142	152
親会社株主に帰属する四半期純利益	14,236	17,734

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)
四半期純利益	14,379	17,886
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△534	4,150
為替換算調整勘定	△85	705
退職給付に係る調整額	△55	△38
持分法適用会社に対する持分相当額	1	△0
その他の包括利益合計	△674	4,816
四半期包括利益	13,705	22,703
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,575	22,486
非支配株主に係る四半期包括利益	129	216

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	19,312	23,947
減価償却費	6,183	7,441
受取利息及び受取配当金	△552	△631
支払利息	121	99
固定資産処分損益 (△は益)	333	257
売上債権の増減額 (△は増加)	12,548	13,169
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,549	△8,023
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,884	4,171
その他	△555	△302
小計	37,726	40,129
利息及び配当金の受取額	1,576	1,309
利息の支払額	△101	△85
法人税等の支払額	△8,664	△7,026
営業活動によるキャッシュ・フロー	30,536	34,325
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△308	△757
投資有価証券の売却による収入	2,988	65
有形固定資産の取得による支出	△8,225	△10,663
有形固定資産の除却による支出	△249	△217
無形固定資産の取得による支出	△992	△407
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	326	591
長期前払費用の取得による支出	△824	△60
その他	△549	△581
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,835	△12,030
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△15,916	△15,954
長期借入金の返済による支出	△1,480	△1,535
配当金の支払額	△7,680	△9,063
非支配株主への配当金の支払額	△52	△39
自己株式の取得による支出	△5,001	△5,001
その他	△13	△11
財務活動によるキャッシュ・フロー	△30,145	△31,605
現金及び現金同等物に係る換算差額	143	117
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△7,300	△9,192
現金及び現金同等物の期首残高	35,335	35,701
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△25	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	28,010	26,508

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2017年4月25日の取締役会決議に基づき、2017年5月9日付で2,000,000株の自己株式の消却を行いました。加えて、2017年8月22日の取締役会決議に基づき、2017年8月31日付で1,000,000株の自己株式の消却を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、利益剰余金が10,627百万円、自己株式が10,627百万円減少しております。

また、2017年5月12日の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が4,999百万円増加しております。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

1) 前第3四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額
	化学品 事業	機能性 材料事業	農業 化学品 事業	医薬品 事業	卸売事業	その他の 事業	計		
売上高									
外部顧客に対する 売上高	18,724	34,645	25,125	6,095	31,761	5,701	122,054	14	122,069
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,844	4,682	3,114	26	9,556	8,741	32,966	△32,966	—
計	25,569	39,327	28,240	6,122	41,317	14,443	155,021	△32,951	122,069
セグメント利益又は セグメント損失(△) (営業利益又は営業損 失)	2,605	9,966	4,850	1,380	1,281	181	20,265	△1,564	18,700

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,564百万円には、セグメント間取引消去△240百万円、各報告セグメントに帰属していない売上高14百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,338百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2) 当第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額
	化学品 事業	機能性 材料事業	農業 化学品 事業	医薬品 事業	卸売事業	その他の 事業	計		
売上高									
外部顧客に対する 売上高	18,836	39,070	29,516	5,807	33,813	5,635	132,680	—	132,680
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,087	5,108	2,977	26	11,179	8,657	35,037	△35,037	—
計	25,924	44,178	32,494	5,834	44,992	14,293	167,718	△35,037	132,680
セグメント利益又は セグメント損失(△) (営業利益又は営業損 失)	2,519	11,676	7,459	1,053	1,432	270	24,412	△2,020	22,392

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,020百万円には、セグメント間取引消去△218百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,801百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(重要な後発事象)

会社法第165条第2項の規定による定款の定めに基づく自己株式の取得

当社は、2018年2月2日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を買い受けることを決議いたしました。

1. 自己株式の取得を行う理由

経営環境の変化に対応した機動的資本政策の遂行を可能とするため

2. 取得に係る事項の内容

- (1) 取得対象株式の種類 当社普通株式
- (2) 取得し得る株式の総数 1,000,000株(上限とする)
(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合 0.66%)
- (3) 株式の取得価額の総額 4,000,000,000円(上限とする)
- (4) 株式の取得期間 2018年2月5日から2018年4月27日まで

(ご参考) 2017年12月31日時点の自己株式の保有状況

発行済株式総数(自己株式を除く)	150,453,792株
自己株式数	546,208株